

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース											
ベーシックレッスン1-a											
対象	1年次	開講期	前期	区分		必修	有	種別	職種	実習	ボイストレーニング講師
担当教員	横山 愛実			実務経験	有	職種	ボイストレーニング講師				
担当教員紹介											
<p>横山 愛実 /1992年6月16日生(29歳) / 2015年 ソロシンガーソングライターとして活動開始。2018年日本代協webCM主題歌を担当。現在JPOPを中心にコーラス現場、ボイストレーニングを務める。</p> <p>■ボイストレーニング担当：日高麻鈴(さくら学院)/ 三品瑠香(わーすた)/ 諸橋沙夏(=LOVE)/ 樋口なづな/ 溝手るか(SUPER☆GIRLS)/ 上野優華、他多数</p> <p>■ボーカルサポート：華原朋美/ 指原莉乃 /渡辺麻友、他</p>											
授業概要											
<p>毎週、学生を数名抜擢して、公開レッスン方式で授業を行いながら、個々が抱える自分の問題点、課題点は何なのかをまず自覚させることを目的とし、体の構造を理解した上で、その問題の解決方法を学生と共に実践を通じて考えさせる。同時に、授業で行った事をいかに歌(表現)の中で活かすのかを、課題曲等を提示し、その中で実践できるようにする。</p>											
到達目標											
<p>声の発せられるメカニズムの理解・自分の行うべき改善目標の具体化 ・具体化された目標を実際に到達させるためのトレーニングの日常化 ・隔週で個別に声の状態を確認し、常時的確なエクササイズの割り当てを目指す</p>											
授業方法											
<p>全体授業と個別指導、少人数制グループレッスンを上手くローテーションした方法で、学生記録を付け、定期的にレベルチェックを行うなどして細かくレッスンを行っていく。個別指導の際も全体に分かりやすい公開レッスン方式で行っていく。</p>											
成績評価方法											
<p>試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価          成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価          平常点 10% 積極的な姿勢</p>											
履修上の注意											
<p>個人差が大きいため、ヒアリングをしっかりと行っただけでレッスンを進めていく。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。</p>											
教科書教材											
<p>毎回授業にて資料配布を行う          参考書・参考資料等は授業中に指示をする</p>											
回数	授業計画										
第1回	セミナー形式でそれぞれの悩みを聞き、実際に解決。前期に行うメニューのオーバー・ビューを見せる										
第2回	数人の学生を選抜して、声の弱点タイプの理解をさせる										
第3回	男子数名を選抜して、男性の声のタイプの理解										
第4回	女子数名を選抜して、女子のタイプの理解										
第5回	エクササイズの割り当て										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース	
ベーシックレッスン 1-a	
第6回	ビブラートに対する理解・エクササイズ
第7回	課題曲に乗せて、ビブラートに対する理解・エクササイズ
第8回	ビブラートの使い方(曲に応じて実習)
第9回	ビブラートをうまく使った表現
第10回	エクササイズの割り当て
第11回	生理学的な声帯の動きを理解する
第12回	男子学生を選抜しての公開レッスンにより、生理学的な声帯の動きを理解する
第13回	女子学生を選抜しての公開レッスンにより、生理学的な声帯の動きを理解する
第14回	声帯の動きを理解し、意識しながらの歌唱実習
第15回	前期を振り返っての個々の発表

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース											
ベーシックレッスン1-b											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	尾崎久美子/Maliya 横山愛実/大森祐斗			実務 経験	有	職種	ボーカリスト				
担当教員紹介											
Maliya / 東京を拠点に活動するシンガーソングライター。18歳の時書き下ろした楽曲SonyMusic×ZOOM主催の初デモオーディションでZOOM賞を受賞。20歳の夏、ボストンにあるバークリー音楽大学のサマープログラムに参加。その後2018年2月発表の1stアルバム”ego”をはじめ、2020年8月には2作同時に発表した“ruby” “selene”を含む4枚のEPをこれまでにリリース。自身のルーツである90年代のR&Bやソウルミュージックなどを軸としつつも、作品ごとにジャズや現行のフューチャーソウルなど様々なエッセンスを取り入れながら自身の音楽を追求している。また、親交の深いWONK、KANDYTOWNのメンバーらの作品にも参加しているほか、自身の作品にはSIRUP、Yo-Sea、プロデューサーとしてG,RINA、Mori Zentaroを迎えるなどジャンルを超えたアーティストとのコラボレーションを交えながら日本の音楽の可能性を広げている。											
授業概要											
ベーシックなボイストレーニングエクササイズの詳細を確認しながら、音程や音階の声による実践、習得に組み込み、リズムトレーニングやサイトシンギングの実践をし、シンガー/音楽家として必要な技術を習得すること。											
到達目標											
1. 自分の声域と声区を知り、腹式呼吸強化のための様々なエクササイズをする。またその呼吸法をどのようにして歌唱の中に活かしていくのか、実際に曲中でそれが出来るようになる。2. 音階やハーモニー、リズムを声で表現できる能力を身につける。ルート音を鳴らし、ルートから正確な音程での音階(メジャー、マイナーすべての音階)を導き出せるようになる。また美しいハーモニーを作るために、他の音を聴きながら正しい音程をとることが出来るようになることを目標とする。											
授業方法											
ストレッチ、カウントブレス、種々のリップロール、数字によるスケール訓練、ハミング、ハーモナイズ、フォニックスを使ったエクササイズ、クラップ/ストンブリズムエクササイズ、サイトシンギングなどを学びます。											
成績評価方法											
試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価 成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価 平常点 10% 積極的な姿勢											
履修上の注意											
この授業では、キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。学習したエクササイズを授業以外でもレギュラーペースで復習実践すること。反復練習が必須の授業になる為、日々のトレーニング、スキル向上への意識を高めることも授業内でクラスの仲間と話ある時間を作りながら進めていきます。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	エクササイズの内容が理解出来るようになる										
第2回	エクササイズを実践出来るようになる										
第3回	声域や声区について理解する										
第4回	腹式呼吸を用いた楽曲歌唱の実践を行う										
第5回	正しい発声法、自分に合った発声を習得する										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース	
ベーシックレッスン 1-b	
第6回	ブレスの位置、深さなどを理解する
第7回	音程、音階を正しく歌えるようにする
第8回	ペアやグループを作り、ハーモニーを意識しながら歌唱する
第9回	スケール使った声帯の訓練
第10回	自由曲のメロディーの動きなど正しく理解する
第11回	リズムパターンに合わせ体を動かし、歌えるようにする
第12回	プロのシンガーについての理解
第13回	エクササイズの結果を確認する
第14回	エクササイズの結果を確認する
第15回	全体のまとめ

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース											
ベーシックレッスン1-c											
対象	1 年次	開講期	前期	区分		必修	有	種別	職種	実習	ボーカリスト
担当教員	Ryuta			実務経験	有	職種	ボーカリスト				
担当教員紹介											
Ryuta / Roland社製シンセサイザーデモンストレーター・キーボーディスト・ボーカリスト・作編曲家、オカリナ奏者 キーボーディストとして数多くのコンサートやレコーディングに参加。特にゲーム・アニメ系の現場は多く「Game Symphony Japan」「Animation Symphony Japan」それぞれのレジデンシャルアーティストとして継続して参加。また、アーティストへの楽曲提供から、カラオケ制作や譜面作成、CMやイベントでのBGM制作とレコーディング、吹奏楽曲の作編曲まで幅広く請け負っている。オカリナ奏者としても活動し、CD「アナスタシア～天空のセレナード～」をリリース、同CDのレコ発ワンマンライブを決行。											
授業概要											
<ol style="list-style-type: none"> <li>3人～5人の少人数から10人、100人単位の規模の大きな合唱曲まで実演できるようになる。</li> <li>他人の声部をちゃんと耳でとらえながら、正しい音程をとりながらハーモニーを作っていくことが出来るようになる。</li> <li>卒業後の職業として、コーラスの仕事も見据え、ハーモニーを自分で考え、またオブリガードやウーアーも付けられるようになる。</li> </ol>											
到達目標											
アカペラで演奏できるようになること。周りのハーモニーを聴きながら自身のメロディーラインをしっかりと聞き取れるようになること。ハーモニーラインを自ら考えられるようになること。この3つを目標として歌と向き合う授業になります。自身の頭の中で音を鳴らせるようになること、その音からハーモニーラインを考えることが出来るようになることを目標としている。											
授業方法											
アカペラ・ゴスペルの既存の曲を歌う 邦楽、洋楽問わず、既存曲にオリジナルのハモを考えて歌う 基本的には耳で覚え、譜面上ではなく聴覚上でハモリを身につけていく											
成績評価方法											
試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価 成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価 平常点 10% 積極的な姿勢											
履修上の注意											
邦楽に偏らず、広く洋楽も取り入れ、グルーブ感も身につけていくので、体を動かすことが必須の授業であり、仲間とのコミュニケーションを深める授業にあります。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができません。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できません。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	ハモリを知る1 《アカペラ》Stand by me 《ゴスペル》You are good										
第2回	ハモリを知る2 《アカペラ》Stand by me 《ゴスペル》You are good										
第3回	ハモリを知る3 《アカペラ》Stand by me 《ゴスペル》You are good										
第4回	ハモリになれる1 《アカペラ》上を向いて歩こう 《ゴスペル》My life is in your hand										
第5回	ハモリになれる2 《アカペラ》上を向いて歩こう 《ゴスペル》My life is in your hand										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース	
ベーシックレッスン 1-c	
第6回	ハモリになれる3 《アカペラ》上を向いて歩こう 《ゴスペル》My life is in your hand
第7回	ハモリになれる4 《アカペラ》上を向いて歩こう 《ゴスペル》My life is in your hand
第8回	少人数で歌ってみる 復習 反復練習
第9回	ハモリになれる5 《アカペラ》ライオンは寝ている 《ゴスペル》微笑みは涙をこえる
第10回	ハモリになれる6 《アカペラ》ライオンは寝ている 《ゴスペル》微笑みは涙をこえる
第11回	ハモリになれる7 《アカペラ》ライオンは寝ている 《ゴスペル》微笑みは涙をこえる
第12回	ハモリになれる8 《アカペラ》ライオンは寝ている 《ゴスペル》微笑みは涙をこえる
第13回	少人数で歌ってみる 復習 反復練習
第14回	少人数で歌ってみる 復習 反復練習
第15回	前期の総括、まとめ

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース											
ベーシックレッスン1-d											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	実習	時間数	120	単位	4
担当教員	大山佳祐/大森祐斗			実務 経験	有	職種	ボーカリスト				
担当教員紹介											
<p>大山佳祐 1990/09/13シンガーソングライター、ピアニスト。昭和音楽大学声楽学科ジャズ・ポピュラーコース卒業。Nissy (AAA西島隆弘)、Kinki Kids、玉置浩二、SKY-HI (AAA日高光啓)、三浦大知、クリスハート、香取慎吾 (SMAP)、Ms. OOJA、TOSHI (XJapan)、TEE、Hey Say Jump!、ゾン・シギオン、久保田利伸、福山雅治、桑田佳祐、コブクロ、向井太一等(順不同)のライブツアーやレコーディング、収録に参加。現在は自身の活動を主に、コーラス業、アレンジ業、音楽監督、メディアや映画音楽の収録、イベント出演など、幅広く活動中。</p>											
授業概要											
<p>このクラスでは実践的に生の楽器で演奏をする、「アンサンブル」を目的としています。カラオケ音源で歌って、最小限で完結させてしまう事が多い昨今、実際音と一緒に出して、その中で行われる音の会話ややり取りを体感してください。「声」もひとつの楽器である認識、そしてほかの楽器とのコミュニケーション無くしては成立しないことをわかってもらえたらと思います。また、その自由度の高さを楽しみながらクリエイティブに楽しんで歌えるとともに良いです。リハーサルテクニックや、ステージパフォーマンスなど、ボーカリストとして、パフォーマーとして、必要な様々なことを年かけて学んでいきます。</p>											
到達目標											
<p>まずはほかの楽器の生の演奏にのせて歌う、という体験をしてもらい、その中で自分らしいパフォーマンスができるようになる事が第一の目標です。余裕が出てきたら、ステージの使い方、お客さんとの距離の取り方など、ステージパフォーマンスに意識を傾けていきます。最終的にはアドリブや、「ライブ」として成立するレベルに持っていく事がこのクラスでの目標となっています。</p>											
授業方法											
<p>まずは1週目に課題曲を渡して、ボーカリスト、各楽器に分かれ個別の指導があります。この際にその曲に関する専門的分野でのレッスンが行われます。曲の解釈であったり、発音など。その次の週には個別の歌唱指導がピアノ伴奏のみであり、いよいよ3週目には全員一緒に、つまりバンドでの合わせがあります。この3週目にいく前の2回分のレッスンの重要性はいうまでもありませんが、突然の合わせで歌えるようにはもちろんならないので、この3回で1クール、という流れをしっかりと意識してください。</p>											
成績評価方法											
<p>試験・課題 70% 課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価          成果発表 20% 授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価          平常点 10% 積極的な姿勢</p>											
履修上の注意											
<p>邦楽、洋楽と交互に課題曲が渡されるようになっていますが、得意、不得意もあると思います。また、1、2回目の練習のクラスに来ず、3回目の本番のみに来るケースも中にはあります。その場合は歌唱させることはできません。しっかりと準備をし、事前の授業に出席した人のみアンサンブルで歌えると認識してください。もちろん授業内の評価もそれに準じます。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。</p>											
教科書教材											
<p>毎回授業にて資料配布を行う          参考書・参考資料等は授業中に指示をする</p>											
回数	授業計画										
第1回	ボーカルのみのクラス (発音、解釈、エンディング、フォームなどの確認)										
第2回	ピアノ伴奏による歌唱指導										
第3回	バンドとの合わせ										
第4回	ボーカルのみのクラス (発音、解釈、エンディング、フォームなどの確認)										
第5回	ピアノ伴奏による歌唱指導										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科/ヴォーカリストコース	
ベーシックレッスン1-d	
第6回	バンドとの合わせ
第7回	ボーカルのみのクラス（発音、解釈、エンディング、フォームなどの確認）
第8回	ピアノ伴奏による歌唱指導
第9回	バンドとの合わせ
第10回	ボーカルのみのクラス（発音、解釈、エンディング、フォームなどの確認）
第11回	ピアノ伴奏による歌唱指導
第12回	バンドとの合わせ
第13回	1学期を通して演奏したことある曲を総復習
第14回	バンドとのゲネプロ
第15回	ライブ同様、演奏してもらいます